

安全だより

安全就業6-9号



季節のたより

今年も残すところあとわずかとなります。これからいよいよ年末のあわただしい時期を迎え、睡眠不足、疲労などが重なり風邪を引きやすくなります。風邪対策としてうがい、手洗いに加えて「水分補給」も大事な予防策のひとつです。また、この時期に注意しておきたいのは「ヒートショック」という現象です。ヒートショックとは、急激な温度変化が体にダメージを与える現象の総称です。

人の血圧は、気温が低くなると血管が縮んで上昇し、気温が高くなると血管が広がって下降します。その変化が急激だと、心筋梗塞や脳梗塞など血管障害を起こしかねないのです。一般的に気温差が10℃以上あると、ヒートショックが発生しやすいとされています。

①浴室を温める対策。②脱衣所も温めておく。③湯温は41℃以下、浸かる時間は10～15分。④かけ湯をしてから入る。⑤入浴前後に水分を摂取。冬場には以上5つの対策に注意をして、安全な入浴に心がけましょう。

会員のみなさま、今年の就業お疲れ様です。来たる新年が、皆様とご家族にとりまして、穏やかに健康な一年となりますようお祈り申し上げます。

二十四節気(冬至)

一年間を24分割した二十四節気、22番目の節気である冬至(とうじ)とは、一年の中でいちばん昼が短く、夜が長い日です。

太陽の力が一番弱まる日ですが、翌日から再び強まるということから、**一陽来福**(いちようらいふく)といって、冬至を境に運が向いてくるとされています。

令和6年12月16日

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

令和6年度上半期事業実績につきましては、上半期の事業実績は、前年度に対し受託件数では1,747件から1,576件(-9.8%)、契約金額では86,807千円から87,429千円(+0.7%)と、受託件数は前年度から減ったものの契約金額は前年比で一割弱の増という結果となります。

上半期の事業実績(6年4月～9月)

区分	受注件数	就業延べ人員	契約金額 千円	前年度比増減	
				延人比	金額比
大月	597	4,804	32,250	3.3%	6.1%
都留	476	4,726	29,341	-1.9%	-3.8%
上野原	503	3,344	25,837	-1.2%	-0.2%
計	1,576	12,874	87,429	0.2%	0.7%

今年度も既に9ヶ月を経て、余すところ3ヵ月となりますが、会員のみなさま方には、引き続きセンター事業へのご協力と、加えて最重要課題である新規会員の勧誘に、ご協力をお願いいたします。

年末の交通事故防止県民運動

・実施期間 12月1日(日)～12月31日(火)

1. 飲酒運転の根絶
2. 高齢運転者の交通事故防止
3. 早めのライト点灯と反射材用品着用の推進

年の瀬はとかく道路が混雑し、心理的にあわただしさを感じ、また飲酒の機会が増えることから、交通事故が発生しやすい時期ですので、会員の皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」

(令和5年度から7年度まで安全就業全国統一スローガン)